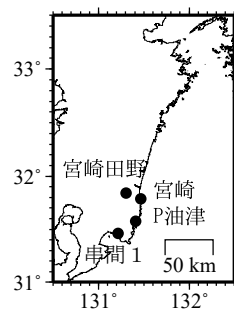
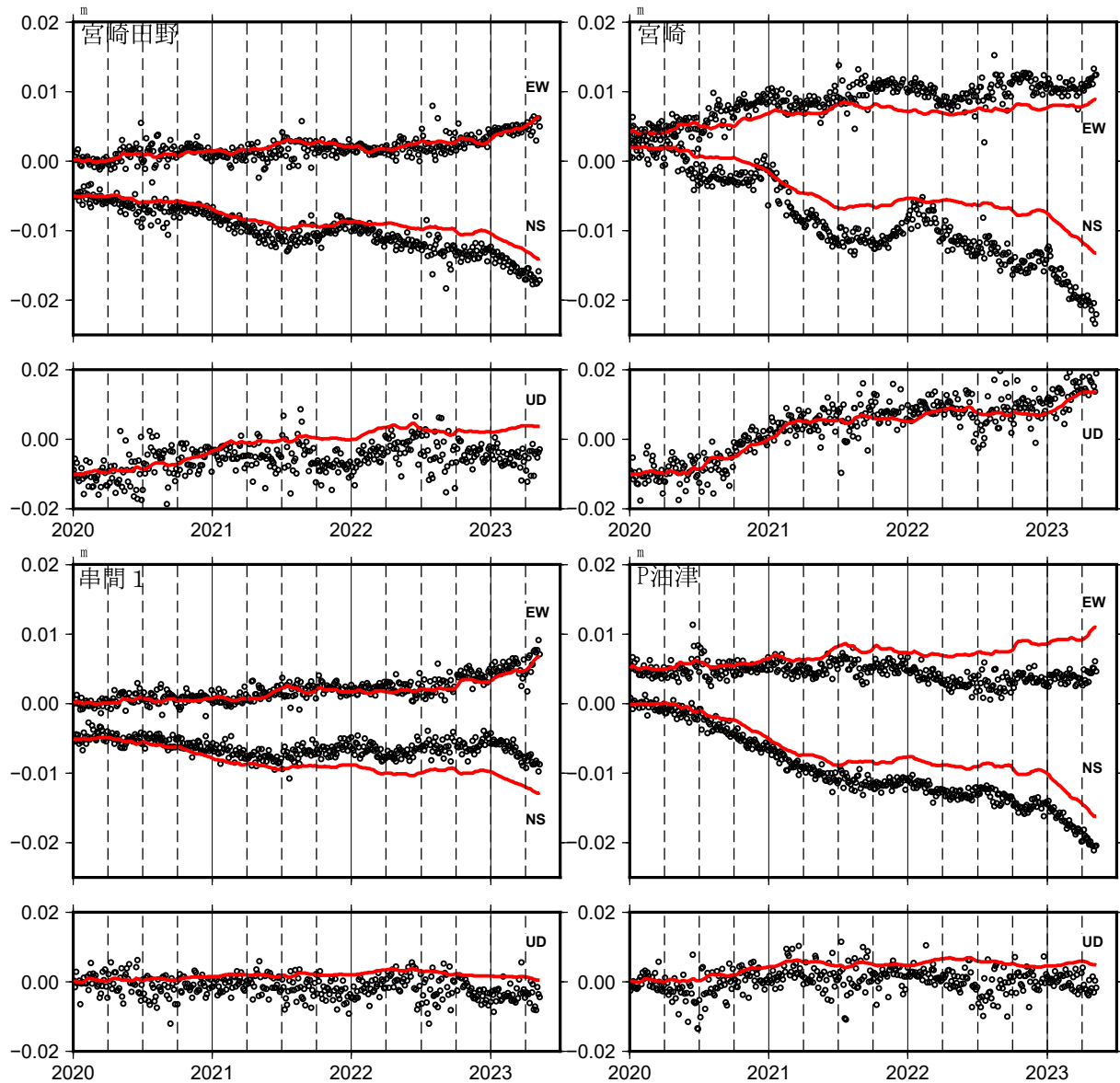


九州地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン



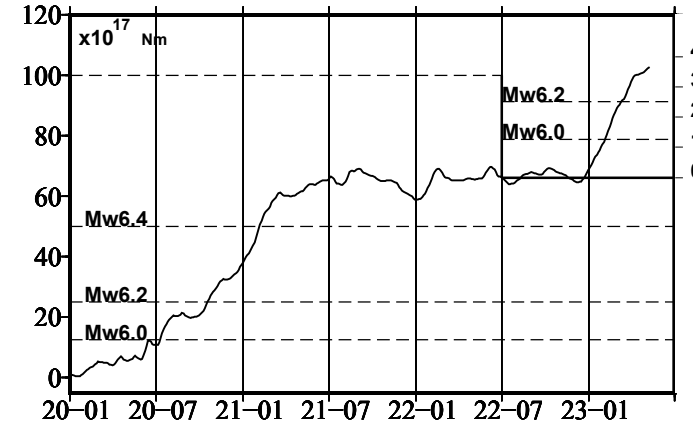
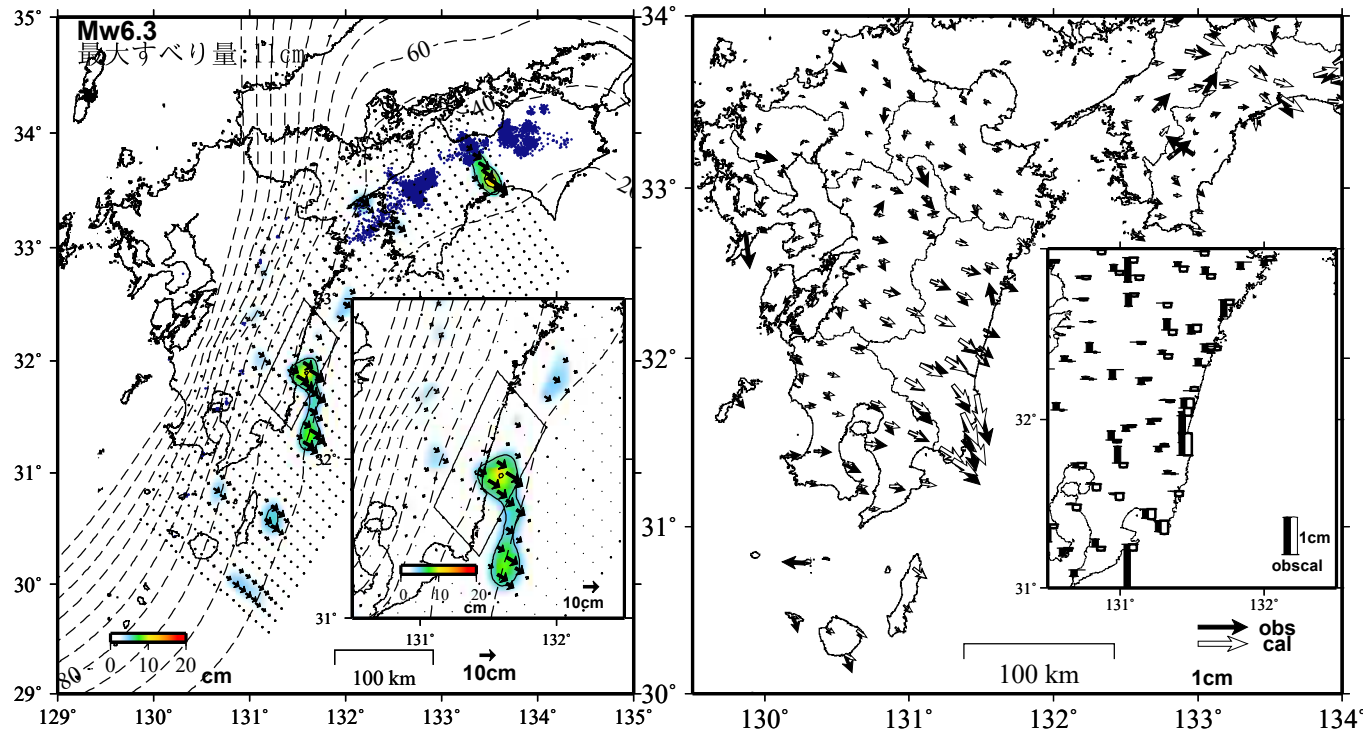
EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動

# GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布  
(2022/7/1-2023/5/9)

観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2022/7/1-2023/5/9)

日向灘南部のSSEのモーメント \*時系列（試算）



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差（ $\sigma$ ）の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2020/1/1-2023/04/22)+R5解(2023/04/23-2023/5/9) \*電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2006/1/1-2009/1/1(年周・半年周成分は補正なし) \*日向灘の地震(2022/01/22, M6.6)の地震時変動を除去している。

日向灘附近: 2007/10/1-2009/3/1 \*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(suito, 2017; 水藤, 2017)。

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側 \*モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2022/7/1-2023/5/9)

固定局: 三隅